

## 雪山訓練：谷川岳 (1回目)

- ◆日程 2018年12月1日(土)～2日(日)  
 ◆メンバー L：須田、西山、小濱、大山、前田、岡村、小山田

当初は富士山での雪訓予定が、雪が少ないという情報により谷川岳となりました。谷川岳は晴れが少ないと聞いていましたが、晴れて見晴らしが最高でした。私は谷川岳もワカンの装着も雪上訓練も初めて尽くしで、まず参加して良いのかどうか悩み、そして準備段階でも悩み、ワカン、スコップの用意など色々質問して教えていただき無事に参加できました。

### 12月1日(土) 天候：曇り

町田駅に6時集合、2台の車に分乗して出発となりました。谷川岳ロープウェイでは荷物が10kg超えると有料となります。共同装備も少なくしていただいたのか私のザックが15.5kg、大山さん19kg、須田さん前田さんは22kgと全員が超過の荷物料金を支払いロープウェイへ乗り込みました。重いザックを軽々と担げる体力に驚きます。

10:25 天神平駅ではゲレンデに土の色が見えてはいましたが、尾根へ登ると雪が深くなり、尾根上で滑落停止訓練・アイゼン歩行・ワカン歩行の訓練を行いました。何もかもが初めてで装備を身につけるのもモタモタと時間がかかり、雪上での歩行の仕方から教えていただきました。滑落停止訓練では止まるのが難しく、この上に荷物を担いでいたら大変なことだと感じました。

12:20 訓練を終了し小雪が舞う中をテント場へ向かいました。熊穴沢避難小屋では屋根と壁の有難みが身に沁みました。小屋に荷物を置いて軽食をとりテント設営、夕食準備、夕食は前田さん特性のイノシシと鹿の野趣あふれるジビエ鍋を八丁味噌で作っていただきました。前田シェフはイノシシの肉はイノシシの匂いがすると言っていましたでしたが他の人には分かりませんでした。テント内ではトランプ大人になっても負けると悔しいです。外では雪の降っている気配と風の音がして、夜中も風でテントが揺れていました。端っこで寝ていた小山田さんは寒かったと言っていました。反対端の須田さんは何も言っていませんでしたがきっと寒かったと思います。

CT：町田駅 6:00 - 谷川岳ロープウェイ 9:55 - 天神平 10:20 - 雪訓 12:20  
 - 避難小屋 13:25

### 12月2日(日) 天候：晴れ

翌日は4:30起床、須田さんから外は星が綺麗だと聞き、トイレに行く決心がついて外に出ました。月と星空がまだ暗い空にくっきりと見え快晴の気配です。朝食は西山さん特性のリゾット、魚肉ソーセージの塩味が絶妙でした。(シーフードを忘れたと言っていました、動じないあたりが流石です) この日はまずはテント撤収なのですが、自分の荷物の整理がおぼつかず何も手伝えませんでした。振り返ると山行中はずっと荷物をゴソゴソ探していて皆さまをお待たせして反省です。(自宅でシュラフにカバーを掛けておく、大きいゴミ袋はテント内で何かと使うので必要などなど今後に生かします)

6:30 避難小屋付近でビーコンを使った訓練をしてから山頂を目指して出発しました。昨晚雪が降ったので白く続く道が綺麗でワクワクするものの、雪に足をとられて中々進みません。途中で暑く感じるほど良く晴れていました。山頂付近は風で雪が舞っていて寒さを感じましたがトマノ耳から見た景色は遠くの山々がクッキリと浮かび上がり、足元の雪の白さと青い空とのコントラストがとても綺麗だと思いました。

10:05 肩の小屋で休憩、綺麗な山小屋です。雪の中、テルモスのお湯がとても美味しく下山するのが残念だなあと感じていました。天候が良かったためか登ってくる人がずいぶん多かった

です。11:35 避難小屋でテントを回収して、いよいよ本当に下山です。アイゼンも外して道も雪が解けて流れているところもあり、転びたくないなあと気をつけて歩きました。

12:40 ロープウェイに乗るとお腹が空き岡村さんのチョコパンをいただきました。帰りは温泉で温まり恒例らしい卓球をして帰宅となりました。

色々と助けていただくことの多い山行でした。須田さんの後をついていくのに必死で後ろを気にする余裕はなかったのですが、岡村さんが後ろにいて、西山さん、大山さん、小山田さん、前田さん皆さんの心遣いをずっと感じていました。本当にありがとうございました。

(記：小濱)

CT：避難小屋 7:00 - 天狗の留場 8:00 - トマノ耳 9:10/9:30  
- オキノ耳 9:35/9:55 - 肩の小屋 10:05/10:45-避難小屋 11:35/12:07  
-ロープウェイ 12:43

